

委員会だより

地方創生等調査特別委員会

本委員会は、議場にて2月1日から3日間の日程で、付託された「登別市総合計画第3期基本計画」を審査し、可決後に附帯意見を付しました。

総論と6つの各章ごとに審査し、主な質疑は、●第3期基本計画の政策・施策・事務事業の評価サイクルや手法、●今後10年間の地域包括ケアシステムのあり方、●空き家の把握や空き家対策のための条例整備の考え、●医療・福祉を中心とした社会サービスによる産業創出の現況、



●水道施設更新の考え、●今後の図書館のあり方や学校図書館との連携の考え、●協働のまちづくりセミナーなどの視点、●コンパクトシティへの考えなど、深く幅広い視点からの質疑内容でした。

附帯意見は、政策課題の解決を主軸においた横断的な政策実施体制の再構築を図るなどの5項目を付しました。本委員会設置目的の「地方創生」関連の調査・研究と「第3期基本計画」の審査を終え、最終報告書を提出し役割を終えました。

(松山)

議会運営委員会

1月25日から3日間の日程で、議運メンバーと正副議長、議会事務局長の11名により、議会改革の先進地である三重県の四日市市、松阪市を本市議会と比較しながら視察に臨みました。

四日市市では、議会報告会およびシティーミーティング、議員間討議の活性化、議案資料の公開と市民意見の公募、文書質問について、松阪市では、議会報告会、公聴会・参考



人制度、反問権・反論権、議員間討議などについて視察しました。

改革推進の経過の中で、反省や検証、試行錯誤を繰り返しながら、常に改善を求め、積極的に取り組まれていると感じました。本市に置き換え、現在取り組んでいるもの、検討中のもの、全く新たな取り組みもあり、その内容について理解を深めました。本市議会の今後の取り組みへの参考にしたいと思えます。

詳細については、市議会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

(成田)